

平成 26 年 10 月 24 日  
気 象 庁 予 報 部

## お知らせ

～ 竜巻発生確度ナウキャストの改善について～  
( 配信資料に関する技術情報第 312 号関連 )

竜巻発生確度ナウキャストについて、高解像度化した気象ドップラーレーダーのデータを活用するなどにより、精度向上を図ります。なお、今回の改善に伴う配信資料のフォーマット等の変更はありません。

### 1. 変更日時

平成 26 年 11 月 5 日 05UTC(日本時間 5 日 14 時) 初期値の資料から  
( 悪天等により、翌日以降に延期する場合があります。 )

### 2. 変更の概要

竜巻発生確度ナウキャストの作成において、高解像度化した気象ドップラーレーダーのデータの利用を開始するとともに、同データを最適に活用するアルゴリズムへの変更及びデータ品質管理手法の高度化を行い、竜巻発生確度ナウキャストの精度向上を図ります。

この改善により、同ナウキャストを利用する竜巻注意情報について、より迅速・適切な発表が期待されます。

### 3. 本改善による効果

#### 改善事例

図は、平成 25 年 9 月 2 日 14 時頃にさいたま市で竜巻が発生した際の、竜巻発生確度ナウキャストの解析値を示したものです。

改善前の手法(左)では、竜巻発生確度 2(赤色)が最初に解析されたのは 14 時 10 分でしたが、改善後の手法(右)では 14 時 00 分に確度 2 を解析できており、より迅速な竜巻注意情報の発表につながることを期待されます。

#### 竜巻注意情報の適切な発表

表は、本改善後の竜巻発生確度ナウキャストを利用した竜巻注意情報の発表シミュレーションの結果です(平成 25 年のデータによる)。本改善により、適中回数と捕捉事例数を維持しつつ、発表回数を適正化することが期待されます。

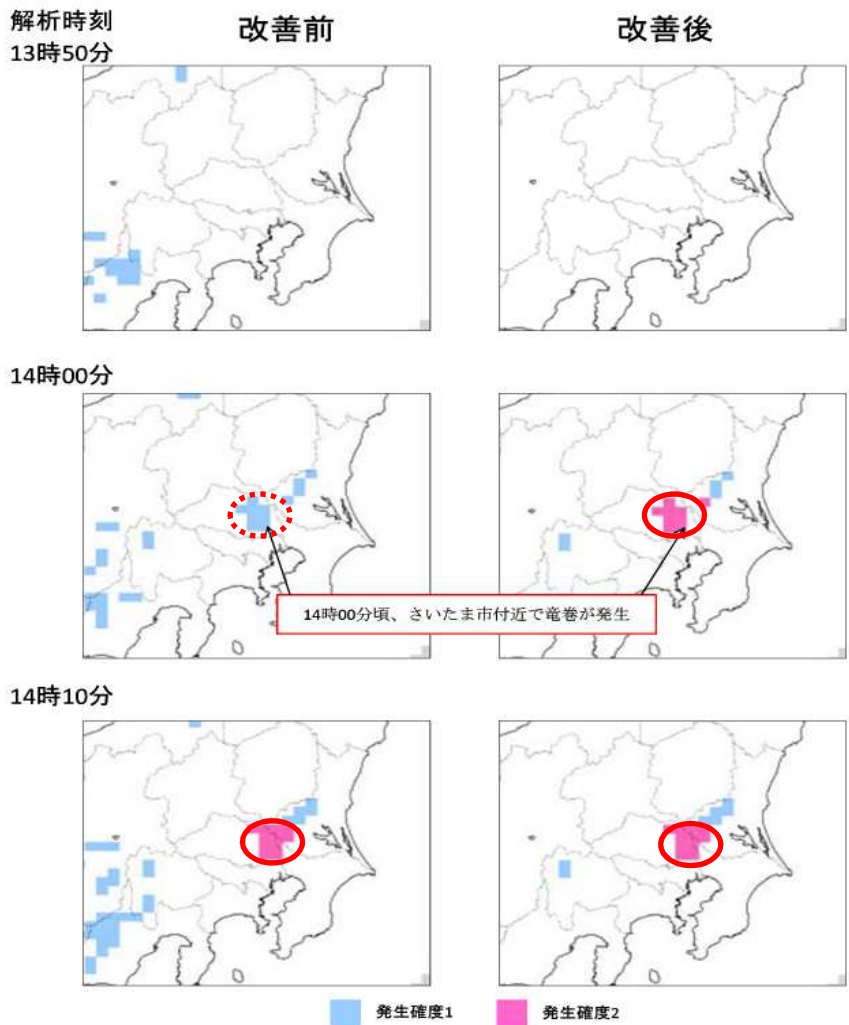


図 平成 25 年 9 月 2 日 13:50 から 14:10(JST)における、竜巻発生確度ナウキャストの解析値。  
左が改善前の手法によるもの、右が改善後の手法によるもの。

表 竜巻発生確度ナウキャストを利用した竜巻注意情報の発表シミュレーションの結果(平成 25 年 1 月 1 日から 12 月 31 日)

	シミュレーションの結果	実際に発表した竜巻注意情報
竜巻注意情報発表回数	532 回	606 回
適中回数	25 回	24 回
適中率	4.7%(25/532)	4.0%(24/606)
突風事例数	57 個	57 個
捕捉事例数	26 個	25 個
捕捉率	45.6%(26/57)	43.9%(25/57)

(注) 適中回数、捕捉事例数の数え方は、こちらを参照してください。

<http://ds.data.jma.go.jp/fcd/tatsumaki/kazoekata.pdf>